

# 組 訪 問 合

## 利根沼田電気工事協同組合

今回訪問した利根沼田電気工事協同組合は、沼田市と利根郡に点在する電気工事業者によって昭和五十一年に設立された組合。

秋の気配が感じられるようになってきた九月の某日、東京電力沼田営業センターの会議室に会議を終えたばかりの組合役員の方々にお集まり頂いてお話を伺った。

星野理事長に業界の現状について伺うと「組合員の業務は、電柱引込線工事から建築屋内の配線工事等が中心ですが、パソコンのLANケーブル配線やオール電化住宅の二百ボルト電源への切替等の工事も増えています。仕事の受注は、概ね民需八割、官公需二割といったところです。民需は、管工

事や電気工事までを一括して引き受ける大手ハウスメーカーの攻勢が著しくなっており、住宅着工戸数が伸びている割には我々の仕事量は増えておらず、官公需も公共事業削減の影響から受注量が低迷しているのが現状です。組合名は『利根沼田』ですが、組合の地区外で工事を行う組合員もみだりに競争は熾烈で、ユーザーの様々なニーズに応じていくためにも資質向上が不可避の課題です」と、



林副理事長、石井技術部長、星野理事長、尾身事務局長、梅沢総務部長

組合事業については、「東京電力から発注される竣工調査と電線引込み工事の共同受注、一般家庭

からの工事依頼に対応する住宅電気工事センターの運営、引込み工事用の電線等の共同購買が中心です。また、当業界では、技術の進歩に合わせた資格取得も必要であるため各種教育情報事業にも力を



県電気工事(工)の技術講習会に参加

注いでいます。更に、「地元の工事は地元の業者に」を合言葉に、群馬県電気工事工業組合の支援を得ながら、利根沼田地区の各首長

### 理事長のウツリヤ

中小電気工事業者を取り巻く環境が厳しくなる中で、我々組合役員には、員外の業者が当組合の魅力を感じて加入してくれるような新たな組合づくりが求められています。

組合青年部を結成させたのも、若手後継者が活き活きと働ける環境

等に対する組合のPRにも力を入れていきます」とのこと。

昨年十二月に結成された組合青年部について伺うと、「我々組合役員も二世経営者が多くなっているだけに、後継者育成の重要性を痛感しています。組合事業の実働部隊としてのみならず、当組合のイメージアップのための重要な戦力になれるよう親組合としても全面的に支援していきたいですね」と語ってくれた。

### 組合の概要

理事長 星野和夫  
所在地 〒三七八〇〇一四  
沼田市栄町二〇一六  
電話 〇二七八―二四一九六二  
設立 昭和五十一年十月十九日  
組合員 六十二人

を構築することで、新たな組合づくりの糸口になればと考えたからです。関係諸機関にも青年部の活動方針等を示してご理解を頂いております。親組合としても「地元の工事は地元の業者に」を周知徹底し、一層の活性化を実現していく所存です。